

# 第8回 記者ブリーフィング (予告)

## 発がん性をどう伝えるか：食品・健康リスク

誌

2016年10月11日(火) 17時30分～19時30分 (受付開始 17時)

場 所：スイス Geneve Warwick Hotel にて

参加費：**無料** ご参加対象：報道関係者 他 10名

### 話題提供者

ドイツ連邦放射線防護局 (BfS) 携帯電話と人体影響

担当官 Christiane Pözl-Viol 氏

WHO 食品安全・人畜共通感染症部長

宮城島 一明先生



西澤 真理子 モデレーター

(シュトゥットガルト大学フェロー研究員・  
国際原子力機関 (IAEA) コンサルタント・  
リテラジャパン代表)

### トピック

国際機関によるリスク評価をどう解釈したらよいのか。国際がん研究機関(IARC)は除草剤グリホサートには「おそらく発がん性の可能」としましたが、これをどう考えるか、異論が出ています。また、IARCは「発がん性があるかもしれない」として携帯電磁波を評価しましたが、この報道でも混乱が広がりました。この度、リスクの科学的評価、管理のそれぞれの専門家をお呼びし理解を深めます。

- テーマ： 1. グリホサートのリスク  
2. 携帯電話の健康影響 最新動向  
3. リスク評価の考え方、伝え方

### タイムテーブル

17:30～17:45	はじめに	西澤
17:45～18:00	リスクを伝える	西澤
18:00～18:30	グリホサートのリスク	宮城島 氏
18:30～19:00	携帯電磁波のリスク	BfS
19:00～19:30	記者の皆さんとの議論	

閉会  
その後、和食「山水」で懇親会

### 登録・お問い合わせ

事前登録をお願いします。

panel@literajapan.com 宛に表題を「記者ブリーフィング」とし、氏名、ご所属(肩書き)、住所、電話番号を明記の上、お申し込みください。登録完了の返信メールや参加証は発行いたしません。定員が超えた場合のみご連絡差し上げます。FAXでもお申し込みを受け付けております。

「記者ブリーフィング」事務局 担当：(有) アルパシエ

電話：03-6423-8262 (祝祭日を除く平日9時から18時)

FAX：03-6423-8263 (24時間受付)

